



修復前 before restoration

修復後 after restoration
(獅子像)

旧円覚寺彫刻

Statues in Enkaku-ji temple (once existed in Naha)

木造

獅子像 最大高 59.1 cm

室町時代 1521年

沖縄県立博物館・美術館 沖縄

Wood

Statue of Lion H 59.1 cm

Muromachi period, dated 1521

Okinawa Prefectural Museum & Art Museum, Okinawa

円覚寺は、第二尚氏三代尚真王によって建てられた王家の菩提寺で、琉球を代表する名刹であったが、沖縄戦で壊滅的な被害を受け、現在では廃寺となっている。

旧円覚寺彫刻はそこに安置されていた仏像群で、爆風によって破損し、戦時の混乱のなか放置されてきた。戦後まもなく木彫片が収集され、1973年の調査で、同寺の仏像群は日本的な技術によって制作された一群と中国的な特徴をもつ一群に分けられることが指摘された。本獅子像は胎内に納められていた木札から大永元年（1521）に制作されたことがわかっており、材料がチャーギ（いぬまき）であることから琉球で作られたものと考えられている。

破損・剥離・虫食い等が激しく2年掛かりで修復された。